

社会認識教育学概論



第11講 問題解決と社会参加の社会科2

—地元の実践から社会科に託する思いを読み取ろう—



演習課題7-1

次週の発表に向けて、ペアをつくる
→ 各問5組で15分のポスター発表

- (1) 両番組は「**交流と成長**」を共通に描いているが、違いも見られる。各番組の特質を説明せよ。
- (2) **藤井千春**と**吉村功太郎**のいずれかの教育論を、番組と関連付けてコンパクトに説明せよ
- (3) 草原和博「**社会認識と市民的資質**」『**新社会科教育学ハンドブック**』(明治図書)を読んで、「ご近所...」の**活動の教育的意義**を評価せよ。



演習課題7-2

発表会のローテーション

- 5組 × 3タームでポスターセッションを行います
- 各タームは**15分**です
- 制作者はポスターの前で発表。他の受講者はポスターを**巡回**しながら質疑応答をします
- ポスターの内容で「**いいね**♥️」と思う箇所に、**理由**を添えて付箋を貼ろう
- 各タームの最後に**TAが2分**コメントをします



Ⅰ 社会科指導の目標・理念

1. **問題解決** = 自己形成...倫理・思想をつくる

生きる: **人間教育としての社会科**

2. **社会参加** = 社会形成...政策・制度をつくる

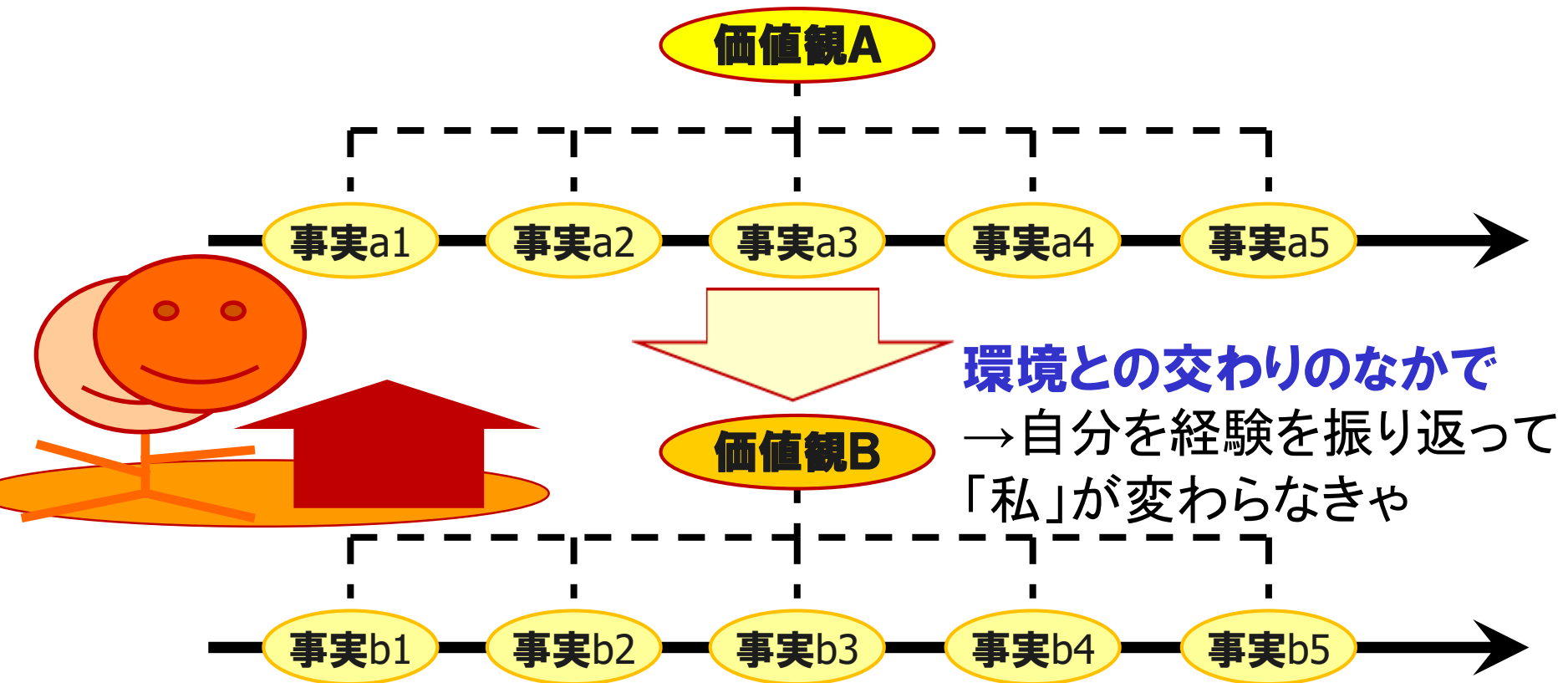
決める: **市民教育としての社会科**

※ 日常語で使う「問題解決」や「社会参加」とは意味が違います。
専門用語です。

II 社会科指導の内容構成

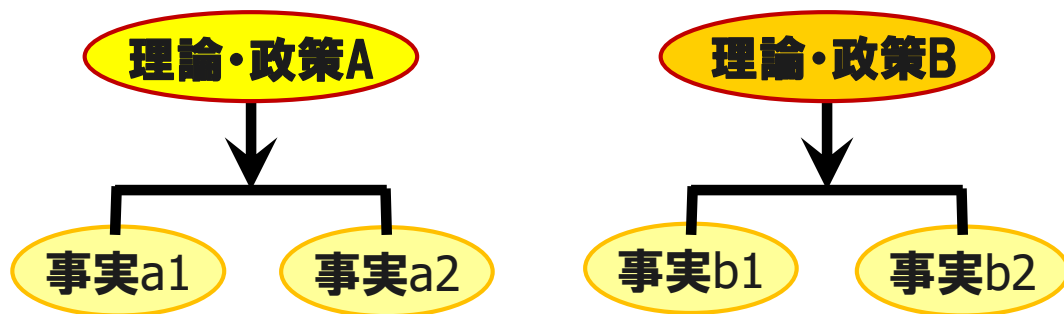
1 Storyとしての知識の自己組み換え

=物語の意味の再構築(感動・悲劇の体験から省察へ)

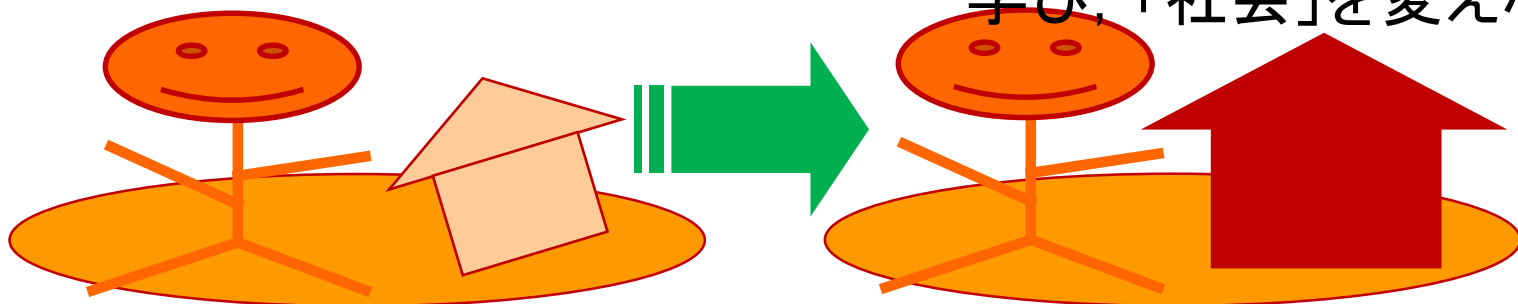


2 Frameworkとしての知識の社会的活用

=理論の応用(選択・主張から提案・行動へ)



環境との交わりのなかで
→多様な選択肢・行動案に
学び,「社会」を変えなきゃ





III 社会科指導の方法論

1. **問題解決**...教師の役割？ **省察**とは？

ポートフォリオ・日誌や報告・対話

可視化&言語化, reflective citizenship

2. **社会参加**...教師の役割？ **意思決定**とは？

個人的意思決定と集合的意思決定

選択・評価&合意・関与, active citizenship



演習課題8

よ〜く見る, 深〜く考える!

(1)「明治6年の政変」...歴史的分野

(2)「トライやるウィーク」...特別活動

番組をみながら、「あっ!ここだ!」



ポスターの**内容と合致している箇所**をみつけ

たら, どんどん付箋を貼り付けよう

→座っている必要はありません! 動こう



目標 大久保と西郷の考えから、明治政府の目指した国家を考える

 大久保利通	<p>大久保の考え 戦争は今の為</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立を目指す 政府の基礎を固める 富国強兵・殖産興業 赤字 	<p>西郷の考え</p> <ul style="list-style-type: none"> 国内の不満を防ぐ 	 西郷隆盛
--	--	--	---

国力を高める ← 対立 → 産業

IV 社会参加としての社会科指導

－明治6年の政変－

(1) 教育目標

- 望ましい**社会のあり方**を，異なる意見をもつ他者との議論を通して主張できる
→「社会はどうあるべきか，それはなぜか？」

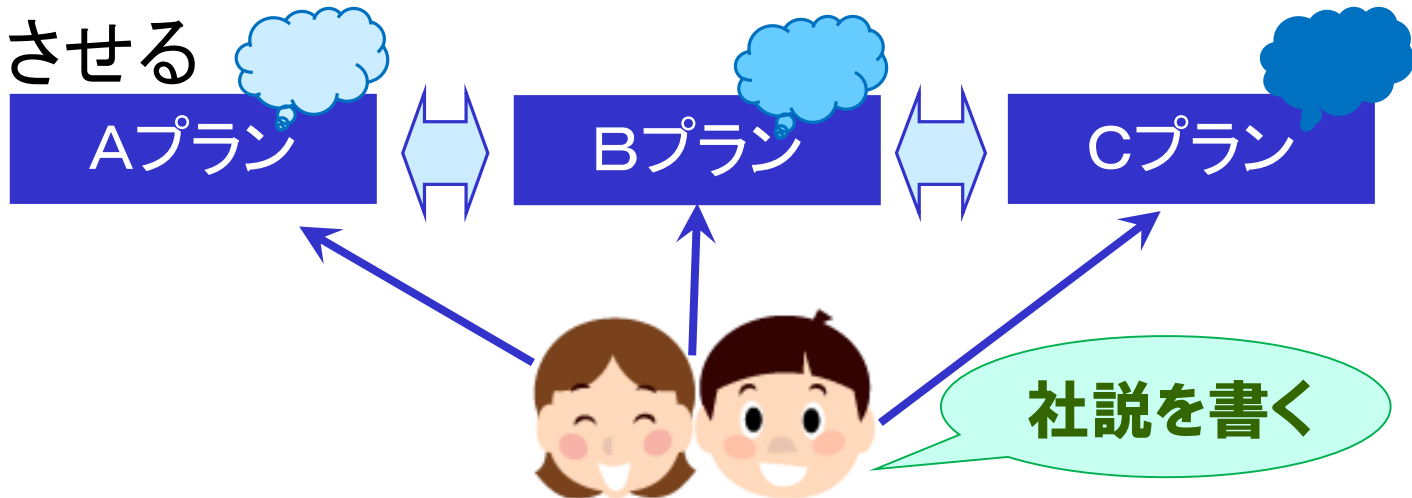
(2) 教育内容

- 対立が現れている**複数の制度・政策**を取り上げ
- それを規定している**価値観の差異と類似**を分析
- **内治優先派**・・・ **殖産興業を進めたい**，**トラブルは避けたい**
近代国家建設のためには，まず... (外と触れてきた人)
- **使節派遣派**・・・ **国内不満を沈めたい**，**朝鮮と交渉したい**
近代国家建設のためには，まず... (中を預かってきた人)

歴史で、ifを考えることをいとわない
→別の選択可能性

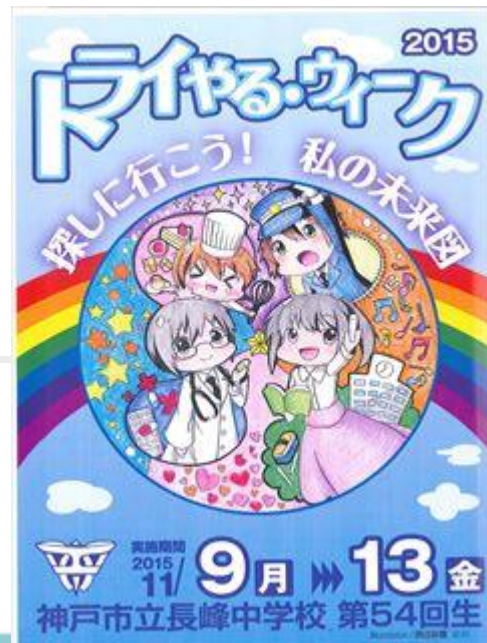
(3) 教育方法

- 制度・政策の論点争点(日本の選挙制度, 東アジアの領土問題, 軍部の仏印進駐...)を取り上げ,
- 複数の選択肢を比較・評価し,
- **望ましい制度・政策のあり方**を選択, 評価し, 構想させる



平成27年度 地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」

6月1日(月)～6月5日(金)
町内の4中学校2年生155名が
69事業所で体験活動を実施します！



※平成26年度の活動より



香住第一中学校
(但馬漁業協同組合)



香住第二中学校
(丸宮農園)



村岡中学校
(村岡幼稚園)

地域や自然の中で生徒たちの主体性を尊重した様々な活動や体験を通して、豊かな感性や創造性などを自ら高めたり、自分なりの生き方を見つけることができるよう、町内4中学校の2年生155名が「トライやる・ウィーク」に参加します。この期間中、町内延69事業所で、大勢の指導ボランティアの皆様にご協力、ご支援をいただきながら、仕事を体験し、楽しさ、厳しさ、そして喜びなど様々なことを学びます。

受け入れ事業所の皆様、指導ボランティアの皆様には、たいへんお世話になりますが、よろしく申し上げます。

「トライやる・ウィーク」の体験者は合計50万人を超えている。(平成18年度)

生徒の成長

- ・ 自尊感情の高揚
- ・ 社会的自立の基礎づくり
- ・ 社会活動への参画意識の形成

生徒の成長への効果

自己認識の深まり・
自己愛の充実

「自己有用感の養成」
「達成感や自信の体得」

人間関係の
深まり

「人との関係をつくる力の育成」
「日常のコミュニケーション能力の向上」
「社会の一員としての自覚の育成」

生活環境への
肯定的認識の高まり

「感謝や尊敬など地域の大人や親の
生き方への意識の高まり」
「礼儀や言葉遣いなど基本的な社会
ルールを守ることの大切さの理解」

生活や学習の
基礎づくり

「自分をコントロールする力の向上」
「基本的なモラルなどの倫理観の育成」
「学んだことを活用して課題を解決す
る力の育成」

職業観・勤労観
の深まり

「学ぶこと、働くことの意義の理解」
「進路意識の伸長」
「公共の福祉に尽くそうとする態度の育成」

V 問題解決としての社会科指導

ートライやる・ウィークー

(1) 教育目標

- 望ましい**人間の生き方・あり方**を，問題状況下での経験の省察を通して実現できる
→「ひとはどう生きるべきか，なぜ働くか・生きるか？」

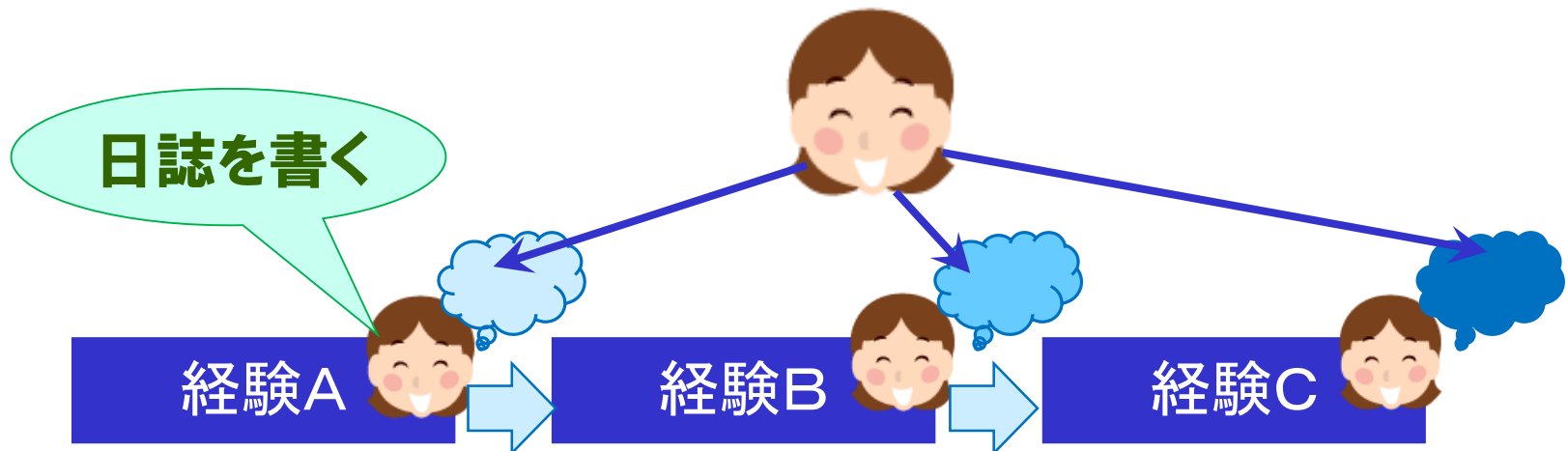
(2) 教育内容

- 私たちの社会に不可欠な**地域コミュニティ**の営みとそれに携わる**人々の生活の姿**
 - ・ **職場体験**... 地場の**モノづくり**や**サービス業務**に従事
 - ・ **福祉体験**... 高齢者，障がい者の**ボランティア支援**に従事
 - ・ **文化・芸術創作**... 伝統芸能等の**文化的活動**に従事
 - ・ **農林水産**... 自然に依拠した**生産活動**に従事

自己の成長を引き出す課題設定と、それをメタ認知させる活動が必須

(3) 教育方法

- 人々の生活の姿を**直接体験**することで実感し、
- やったこと・感じたことを記録し、振り返る(ポートフォリオの作成)ことで、**自己の成長の姿**に気付かせ、
- **孤独感を乗り越え、社会意識の芽生え**を支援する





Aims Talkをしよう！



来週はこれまでに学んだ4つの**社会科教育論**の
ねらい・特質と**相互関係**を図解する**GW**をします